

平成 27 年度 第 2 回 学校評議員会 概要

平成 27 年 12 月 17 日(木) 10:00~11:40

神戸市立桜の宮小学校 会議室

1. 出席者

平田 勝彦(桜の宮小施設開放委員長)	吉川 庸一(北鈴蘭台自治会長)
井本 涼子(桜の宮小学校PTA会長)	田中利恵子(桜の宮小学校PTA副会長)
井上 康代(桜の宮小学校PTA副会長)	秦 重康(桜の宮中学校校長)
三海 弘晶(桜の宮小学校校長)	栗本 純也(桜の宮小学校教頭)
田邊 孝子(桜の宮小学校主幹教諭)	竹内 隆 (桜の宮小学校教諭)

【敬称略】

2. 次第

- ・はじめの挨拶（三海校長）
- ・自己紹介
- ・平成 27 年度桜の宮小学校自己評価（前期）について
- ・桜の宮小学校全国学力状況調査結果及び改善について
- ・質疑応答
- ・授業参観（2・4・6年）
- ・地域の子どもの様子について
- ・おわりの挨拶（三海校長）

3. 平成 27 年度桜の宮小学校自己評価（前期）について【資料 1 参照】

4. 桜の宮小学校全国学力状況調査結果及び改善について【資料 2 参照】

5. 質疑応答

- ・個性を伸ばす教育活動について

→個性を見つめて、落ちこぼれにさせない教育が必要。

机に向かう学習が得意な子、運動が得意な子、絵を描くのが好きな子、様々である。

運動に長けている子はスポーツ活動に、作文の得意な子は文芸活動に参加させる機会をもてたらしい。

スポーツ活動は、昨年よりスポ協活動として通年で行っている。

母体の人数が少なくスポーツ大会への参加するための人数を確保すること自体が難しいが、参加者は徐々に増えている。ドッジボール大会では3年生が神戸市72チーム中、3位になった。母体の人数が少ないのは、中学の部活も同じ状況。

小学校でこのようなスポーツ活動に取り組んでいることが、中学校の教育活動につながっている。

姿勢を保つことができない子供がいる。スポーツ活動で体幹を鍛えていく必要がある。

教職員の数に限りがあり、練習や引率で保護者に協力いただいております、とてもありがたい。

・学習について

→いわゆる学力テストは、問題を理解すること自体が難しく、慣れていないと解けない。

学校で丁寧に対応しているのがわかって、安心した。

子供が読みたい本が少ない。

予算の中での運用になるが、子供が読みたい本、子供に読ませたい本を選んで、購入を進めた
い。

・子供の様子について

→地域で出会っても、あいさつできている。

公園のごみも去年より少ない。

北鈴駅から有馬街道への道沿いにポイ捨てがある。自治会では、「ポイ捨てはやめる。ごみはひろ
う。」を呼びかけている。

歩道を広がって歩く子供たちがいる。声をかけると道を開けるが、人に迷惑をかけないという
指導をしていってほしい。

素直な低学年の姿が見られるが、高学年では、それを出すことが難しくなっている。

人間関係の囚われから、自由に自分を出せない高学年の様子がうかがえる。

低学年からの人間関係づくり、学級づくりが大切になってくる。

・いじめ防止について

→いじめが原因と考えられる痛ましい事件が続いている。

子供の表情に変化があれば、学校に知らせてほしい。早期の情報がほしい。

1・2学期にいじめに関するアンケートを実施している。

「いじめを受けた。」と児童が感じたら、それでいじめと認知する。

本校の「いじめ防止等のための具体的な方針」に従って、丁寧に対応していく。